

# 千代田区基本構想懇談会 第3回全体会 議事要旨

## 【開催概要】

- 1 開催日時  
令和4年10月6日（木）18時～20時30分
- 2 会場  
千代田区役所4階 会議室A・B
- 3 出席状況  
学識経験者4名中1名欠席  
区民 17名中3名欠席
- 4 千代田区  
樋口区長、古田政策経営部長  
事務局： 夏目企画課長、沖田企画担当係長、岩森主任、落合主事、小野寺主事

## 【次第】

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 報告
  - ・第2回部会の振り返り
    - (1) 教育と文化
    - (2) 福祉と保健
    - (3) くらしとまちづくり
- 4 協議
  - ・提言書たたき台について
    - (1) 提言書の構成
    - (2) 基本構想についての提言
    - (3) その他区の取組みに対する意見
- 5 今後の予定
- 6 閉会

## 【配布資料】

- ・資料1 : 第2回部会の振り返り・協議事項について
- ・資料2 : (仮称) 第4次基本構想(たたき台)
- ・資料3 : 提言書たたき台
- ・資料4 : 意見記入用紙
- ・参考資料1 : 団体関係者ヒアリングの結果(追加分)

## 1 開会

## 2 挨拶

## 3 報告

### (1) ヒアリング結果の共有・第2回部会の振り返り（各部会長補足説明）

#### ◎事務局

- ・資料1、参考資料1に基づき説明。

#### ○学識経験者

- ・これまでの議論を上手く纏めていただいているため、特にない。

#### ○学識経験者

- ・部会での活発な議論を簡潔にまとめていただいた。第2回全体会で、全ての委員の皆さまの意見を共有できたことが、第2回部会の活発な議論に繋がったと考えている。補足説明をすると、「繋がり」に関しては、「誰一人取り残されない」という表現は極めて重要であり、政策上の観点からではなく、自分たちで作りあげていくものだという意見があった。そのためには、既存のコミュニティ以外の方でも参加できるようなプラットフォームを作成すると良いという提案があった。また、このような議論を深めていくと、健康づくりはまちづくりとも連動することが分かってきた。

#### ○学識経験者

- ・第1回部会で、既に活発な議論を行っていたため、第2回部会では基本構想のフレームにかかる議論など、部会に留まらないような「その他」に対する意見・議論が多かったのが特徴であった。
- ・団体ヒアリングの報告で、「新しく千代田区に住むようになった住民は、地域との関わりが無い」といった意見が紹介されていた。くらしとまちづくり部会の委員は、比較的新しく千代田区に住みだした委員が多いが、「千代田区の先進性やリーダーシップを強くアピールして日本を引っ張ってほしい」といった意見があったように、千代田区に対して十分プライドを持っているように感じられた。

### (2) 質疑応答及び追加意見等

#### ○区民

- ・資料1の7ページの「起業」は「企業」という意味か。

#### ◎事務局

- ・誤字である。正しくは、「企業」である。

○区民

- ・資料1の3ページに「『意思』とは」と始まる文章がある。個人的には、個性や意思を「育む・育てる」という言い方は上から目線のように少し違和感がある。子どもの個性や意思を「育てる」のではなく「尊重する」という表現のほうが適切なのではないか。

○区民

- ・自分たちが自信を持っている事を相手に伝えることは、「育てる」に繋がるのではないか。そういった意味では、「育てる」という表現は重要なのではないか。

○区民

- ・言葉の使い方の問題であると思うが、単に「育む・育てる」のではなく、「育み、育てる場」が提供され、それを活用するかどうかは、本人の個性や意思を尊重できるような意図が伝わるように工夫すれば良いのではないか。

○区民

- ・様々なバリアを取り払っていくことを基本構想の中に盛り込むと良いのではないか。例えば、高齢者の健康寿命を延ばすために、モビリティを改善（風ぐるまの無料化、レンタル自転車の値下げなど）することや、高校授業料の無償化、さらには出産に係る支援（経済的な支援、子育ての支援など）を行うなどの区独自の施策を通じ様々なバリアを取っていく必要があると考える。

○学識経験者

- ・「誰一人も取り残されない」ためには、まさにバリアを取り払っていくことが重要である。

○区民

- ・先ほどの意見と同様に考える。また、区独自施策に限らず、例えば東京都が実施している施策に、区が独自に上乗せして支援していくような視点も重要である。

○区民

- ・分野別の将来像の「文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになります。」についてだが、上野には文化芸術施設が多くあり、そのような近隣区との連携を進めていく事も良いのではないか。

○区民

- ・千代田区は劇場が多くあるが、そのような場に劇団をこの20年の中で誘致できれば良かったのではないかと思う。周辺区には中央区や台東区など文化が集積している区も多いため、そのような区とも連携し、文化施策を推進しても良いのではないか。

#### ○区民

- ・千代田区の広報紙に日比谷の劇場が特集されていたが、千代田区民以外からも関心を持たれていたと伺っている。まちづくりというと、ディベロッパーが関与するものだと思いますが、千代田区と一緒に劇団などを誘致しても良いのではないかと。

### 4 協議

#### (2) 基本構想についての提言

##### ○学識経験者

- ・全体会や部会に出た多岐にわたる意見を分かりやすく簡潔にまとめていただいた。また、再検討が必要な事項には、理由も明記している点は良いと思う。
- ・一般的な提言書の構成は、提言の主たる意見のみを記載することが多いが、今回の提言書には、基本構想への主たる意見のみならず、具体的な施策に対する意見である「その他区の取組みに対する意見」も敢えて提言書の中に盛り込んでいる点はかなり珍しく、それは区民の意見を尊重し、実現していこうという表れなのではないかと感じている。

##### ○学識経験者

- ・くらしとまちづくり部会でも多様性が千代田区の魅力の一つであり、それをどのように担保していくかが重要であると議論されてきた。多様性の観点は分野別の将来像の1つ目に内包されていると思うが、多様性を担保する基盤を構築していくという意味も3つ目の分野別の将来像に持たせても良いのではないかと。

##### ○学識経験者

- ・分野別の将来像は3つの部会で重なる部分が多いように感じており、その点を意識しながら議論を進めてきた。教育と文化の視点であれば、区民誰もが学び直しできるような地域のプラットフォームづくりがハード面、ソフト面どちらにおいても必要になるのではないかと。

#### ○区民

- ・資料1の12ページ、2段落目では、コロナウイルスの拡大と国際化の進展が記載されているが、コロナウイルスによって入国制限などが設けられている中で、相反する要素が同じ段落に記載されていることは少し違和感がある。

##### ○学識経験者

- ・ここでの国際化は、国外から来日する外国の方を想定しているだけでなく、区の中での国際化の話も含まれていると思う。

#### ○区民

- ・基本構想（たたき台）の「はじめに」の1～4段落目では、過去の歴史に関する記載がされているが、誤った記載が含まれている。（「千代田区は、約400年にわたり、政治・経済・文化の中心として歴史を刻み、発展してきました。」）その点は修正を行うべきである。
- ・5段落目では、コロナウイルスを「未曾有の危機」と称しているが、これまでの歴史上、人類はコレラなどの感染症と向き合ってきた経緯があり、コロナウイルスは「未曾有」では無いと思う。この点も修正すべきであると思う。

#### ◎事務局

- ・今、ご指摘いただいた歴史に関する記述については、これまでの全体会でもご指摘を受けた箇所であり、資料1の30ページにて「最後に、本基本構想が千代田区に関わるすべての人と共有するものだということを鑑み、正確な記述に努め、多くの人から理解されやすい用語を使用するよう留意されたい。」といった形で提言内容に包含させていただいている。

#### ○区民

- ・「はじめに」に係る提言内容に「正確な記載をしてほしい」という表現が抜けてしまっている点が問題なのではないか。

#### ◎事務局

- ・全体を通じて同じような意見を頂戴していたことも踏まえ、資料1の30ページの「基本構想全体に関わる意見」の中で、「正確な記述に努めること」に関する記載をしている。

#### ○学識経験者

- ・内容に関する事項ではないが、資料3の2ページにある懇談会構成員については、この懇談会の主役は区民の方であることを踏まえ、区民の方の氏名を先に掲載していただきたい。

#### ○区民

- ・基本構想（たたき台）に記載されている「伝統とモダン」や「千代田区は、約400年にわたり～」などの表現については、これまでの懇談会でも様々な意見が出ている。具体的にどういった表現に修正すべきかについて、様々な案を吸い上げた方が良いのではないか。例えば、「はじめに」の「千代田区は、約400年にわたり～」の表現については、「現在の千代田区があった地域は、約400年にわたり～」にした方が良いなど、懇談会で具体的な代案を出し、後に区が基本構想を策定する際の材料として活用していただければ良いのではないか。

#### ○学識経験者

- ・本日の目的は、具体的に基本構想（たたき台）をどう修正するかについてではなく、提言書（たたき台）の表現について議論することが目的だと理解している。

#### ◎事務局

- ・これまでの懇談会でいただいた意見を積み上げた結果が提言書のたたき台であり、本日の全体会ではその提言内容について確認をしていただきたい。

#### ○区民

- ・懇談会では基本構想（たたき台）への具体的な修正案も意見として出たが、今回の提言書（たたき台）は意見が抽象化されているため、もったいないように感じる。例えば、懇談会委員による基本構想（たたき台）の具体的な代案をまとめ、提言書の参考資料として添付するのはどうか。

#### ◎事務局

- ・委員の皆さまから頂いた基本構想（たたき台）への具体的な修正案の意見は、提言書の参考資料として議事要旨を添付する予定であり、具体的な意見も確認できる想定でいる。また、資料3の提言書（たたき台）10ページ以降に「基本構想に対する懇談会構成員からの主な意見」という項目を設けており、委員に皆さまから頂いた具体のご指摘を基本構想（たたき台）の章ごとに確認できるようにしている。

#### ○学識経験者

- ・具体的な修正案を提言書に記載するのではなく、例えば、「はじめに」の「千代田区は、約400年にわたり～」への提言としては、「歴史的な表現も含めて正確な記載をしてほしい」といった記載をすることで、解決できるのではないかと。現在の提言書（たたき台）の「はじめに」の箇所には、そのような記載は無いので、そういった点を追記していただければ良いのではないかと。

#### ○区民

- ・少しでも良いので、基本構想（たたき台）の代案を記載しても良いのではないかと。

#### ○区民

- ・例えば歴史という観点で見た時に、政治、経済、文化など様々な切り口があるため、一つ一つ修正するのは困難なのではないかと。

#### ○区民

- ・そもそも、「はじめに」の前段で記載している歴史や政治の話は誰でも分かるような話なので、基本構想に敢えて記載する必要はないように感じる。ここで、伝えたいことは、「変化が激しく、不確実な世の中にあっても、リスクや環境変化に的確に対応し、持続可能な地域社会を築いていきます。」以降の内容だと思うので、その内容をストレートに記載すべきなのではないかと。「はじめに」の部分は、かなり長いため、本筋が見えにくくなっているのではないかと。

#### ○区民

- ・資料1の12ページでは、「行政機関と区民との距離が近い」と書いてあるが、これまでの部会でそのような話が出た記憶がない。そのような意見は出たのだろうか。

◎事務局

- ・別途実施したヒアリングにて、そのような表現があったので、このように記述していると記憶している。

○区民

- ・目指すべき将来像にかかる提言書自体は上手くまとめられていると思うが、漢字ではなくひらがなで「まち」が何度も記載されているのはなぜか。

◎事務局

- ・漢字の「町」や「街」であると、区域やハード面の印象が強いため、コミュニティの形成などのソフト面の意味合いも含めてひらがなで「まち」と記載している。資料の一部に漢字の「町」が紛れているが、その点は後ほど修正させていただく。

○区民

- ・資料1の18ページに記載されている「生み育てたいと願う人が増え」については、生み育てたいと願っているが、経済的な事情などにより生むことができない若者も多くいるため、ここで重要なのは、願うことではなく、その願いが実現されることであると考え。そのため、「生み育てたいと願う人が安心してその願いを実現できる」のような表現にしたほうが良いのではないか。

○区民

- ・資料1の18ページの「ライフステージ・ライフスタイル」について、千代田区には、すでに多くのライフステージを経験した高齢者層も多くいるため、そのような方たちも想定した表現を「誰一人取り残されることなく～」の箇所に反映させた方が良いのではないか。

○区民

- ・資料1の19ページでは「安心でき希望をもてる将来像」と記載されているが、この「安心」はどこから来たのか。主な参考意見の「支え合うといったイメージもあるため、『誰が誰から取り残されることなく、支え合っていく』のか、もう少し具体的に書くと良いと思う。」といった発言が「安心」という表現に纏められているのかもしれないが、「支え合い」という表現の方が相応しいのではないか。

○学識経験者

- ・「誰一人取り残されないように」という意味も含まれているのかもしれない。

○区民

- ・資料1の16ページの「3つ目は、～」と始まる段落では、「千代田区は地域のつながりを大事にしてきた」と記載されているが、主な参考意見を確認すると、「地域のつながりを大事にしてきた」までは発言していないのではないかと。少しニュアンスが異なるのではないかと。思う。

#### ◎事務局

- ・団体関係者ヒアリングの結果の中で、そのような意見があったように記憶している。頂いたご指摘を踏まえ、提言の表現を修正させていただく。

#### ○区民

- ・資料1の25ページに「ハード面の整備や持続可能な社会を実現」との記載があるが、災害対策に関し、「持続可能」という表現を使用するイメージはあまり無い。また、「持続可能」という表現を使用することで、経済、暮らし、災害などの様々なイメージが想定されるため、何について言及しているのか分かりにくくなってしまっている。そのため、例えば、「ハード面の整備などを通じ、災害に強いまちを実現していく」など、明確に記載しても良いのではないかと。

#### ○区民

- ・資料1の16ページの主な参考意見に、「地域のつながりや人間味があることを守りながら」という意見があるが、個人的には他区と比較して千代田区は人間味が薄いように感じている。例えば、八百屋や果物屋など小規模な商店が少ないように感じる。

#### ○区民

- ・資料1の24ページの「また、これからのまちづくりにあたっては～」の提言が、主な参考意見と一致していないように感じる。「生活を便利にしていく」というかなり大きな括りの表現に置き換わっているが、ここに記載の主な参考意見をベースに提言を作るのであれば、「交通」の要素を十分に反映させる必要があるのではないかと。

#### ○学識経験者

- ・私も同様に思う。多様性を担保できるような安心して生活できる生活基盤が重要であるところとまちづくり部会では議論していたが、この提言を見るとそのような議論が抜けてしまい、かなり抽象的な提言となっている。

#### ○区民

- ・資料1に記載されている「主な参考意見」は、これまでの懇談会の議論が網羅的に反映されているのか。

#### ◎事務局

- ・基本的にはこれまでの懇談会の意見を網羅しているが、反映されていない箇所があればご

指摘いただきたい。

○学識経験者

- ・「モダン」という表現は、賛否両論あったと記憶しているので、提言書としてはどちらが正しいかを決めるのではなく、「モダンに対しては様々な意見があった」記載するのが望ましいのではないか。

○区民

- ・「モダン」という表現については、千代田区は、これまでも、そして現在も日本の中心地であり、モダンの要素を備えつつも、歴史など古いものが残っているように感じる。そのように考えると、「モダン」という表現はそのままでも良いのではないか。また「とけ合う」という表現に関しては、現実的にとけ合うことは無いだろうが、日本語の表現としては問題ないのではないか。

(3) その他区の実施に対する意見

○区民

- ・資料3の22ページの災害対策にかかる懇談会構成員からの意見の記載が、その上にあるまちづくりにかかる意見と同様のことが記載されているが、これは誤植なのか。

◎事務局

- ・誤植である。修正させていただく。

○区民

- ・資料3の17ページでは、「親が共働きで子どもが放置され、ゲームに夢中になりすぎている家庭がある。」と記載されているが、親が共働きで子どもが放置されている状態が問題なのであり、ゲームそのものは問題ないため、ここでの記載の仕方には注意してほしい。

○学識経験者

- ・基本構想についての提言内容よりも、「その他区の実施に対する意見」での記載の方が、表現が簡潔で上手く整理されており、ここでの表現を上手く基本構想についての提言内容に反映できると良いのではないか。

○区民

- ・「その他区の実施に対する意見」と同様に、「基本構想についての提言」においても、それぞれの提言ごとに具体的な意見を記載してはどうか。

◎事務局

- ・資料3の10ページから16ページにおいて、提言を作成するにあたっての具体的な意見を参考に記載させていただいている。また、「その他区の実施に対する意見」での表現の方が

簡潔で上手く整理されているという指摘に対しては、工夫できる箇所については、対応していく。

○区民

- ・「その他区の取組みに対する意見」における「教育関連」、「文化関連」などの分野の分け方が分かりやすいように感じる。基本構想の分野別の将来像の「分野」もこのような分類の仕方が良いのではないか。

○区民

- ・資料3の20ページに、「それ故に」が漢字で記載されているが、ぱっと見ると「故人」に見えてしまうので、表現を工夫した方が良いのではないか。

○区民

- ・基本構想（たたき台）の言葉使いや表現（「千代田区は、400年にわたり～」や「伝統とモダンがとけあい」など）を具体的にどう修正するか、この場で示していただかないと同じような議論の繰り返しになってしまう。また、「基本構想についての提言」で用いられている一つ一つの言葉、特に本日の議論で出た「行政機関と区民との距離が近い」などについては、根拠もしっかりと示してほしい。

◎事務局

- ・議論の度に基本構想（たたき台）をブラッシュアップするような方法もあるが、この懇談会では、基本構想のたたき台を修正するための提言をとりまとめていく予定である。

○区民

- ・資料3の20ページの「昼間区民と在住区民の差が大きい千代田区」について、おそらく人口の差について言及しているのだと思うが、人口の差が大きいことがコミュニティ形成を困難にさせているとは考えにくい。それよりも、昼間区民と在住区民の交流が少ないことがコミュニティ形成を困難にさせており、その点を踏まえて、表現を工夫した方が良い。

○区民

- ・千代田区の物価は高いように感じている。昼間区民も本当は千代田区に在住したいと考えているだろうが、物価が高いため千代田区に住むことが難しいのではないか。

○区民

- ・資料3の17ページに「親が共働きで子どもが放置され、ゲームに夢中になりすぎている家庭がある。」と記載されているが、「共働き」が当然となっている現代において、共働きが問題であるような表現は問題なのではないか。また、子どもが放置されることと、ゲームに夢中になりすぎていることは、因果関係がなく、提言書に掲載する表現としてももう少し注意していただきたい。

#### ○区民

- ・私も「共働き」という言葉遣いには、違和感を覚える。親が共働きであることと、子どもへ目が行き届かないことは、無関係であり、誤解を招かないような表現を考える必要があると思う。
- ・資料3の20ページにおいて、「千代田区は転入者が多く、新たに住み始めた住民が多い」とあるが、新たに転入してきた者に問題があるような表現に思われる。転入者自身に問題があるのではなく、急激な人口増加と高齢化が原因で区内のつながりが希薄になってしまったのではないか。その事実も提言書で反映できると良いと思う。

#### ○学識経験者

- ・「その他区の取組みに対する意見」での「懇談会構成員からの意見」は、現状認識と、要望の2つが混在しているので、このような議論になってしまうのではないか。現状認識については、発言者の価値観にもよるため、場合によっては誤解を招くような表現として受け取られてしまう可能性があり、提言とは別の取り扱いをした方が良いのではないか。

#### ○区民

- ・資料3の21ページで、生活環境にかかる記載があるが、客引き行為の対策については、国が実施することを想定しているのか、それとも区として何か対策をとることを想定しているのか。

#### ◎事務局

- ・現段階では、これまでの懇談会で出た意見を提言という形でまとめているだけである。今後頂いた提言を基に、区としてどのような取組みが可能か検討は行っていく。

#### ○区民

- ・資料3の21ページの「生活環境」では、路上喫煙や客引き行為に関する記載があるが、ここに騒音による被害についても触れてほしい。特に靖国神社の周辺は、騒音トラブルが多いように感じている。

## 5 今後の予定

## 6 閉会